

教育委員会（ 10月 ）会議録（要点筆記）						
招 集 年 月 日	令和 5年10月30日（月）					
招 集 の 場 所	白馬村役場 2階 庁議室					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和 5年10月30日（月）午後 2時00分				
	閉 会	令和 5年10月30日（月）午後 2時56分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	横 川 秀 明	教 育 長 職 務 代 理 者	幅 下 守	委 員	田 口 令 子
	委 員	松 沢 亨				
事 務 局	教 育 次 長	横 川 辰 彦	生 涯 学 習 課 長	松 澤 宏 和	子 育 て 支 援 課 長	内 山 明 子
	教 育 係 長	今 井 志 保				

会議の要旨

1 開 会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和5年9月定例会の会議録について

[教育長]

異議なく承認された。

3 報 告

○教育長報告

10月10日に地教委と校長会で研修会を開催した。部活動の地域移行と特別支援教育のあり方について討議がされた。

13日に北小の150周年記念音楽会が開催された。子供たちの元気な歌声にエネルギーをいただいた。

14日に大北地区PTA研究協議会が開催された。6つの分科会で、保護者との連携や子供たちの様子について情報交換をさせていただいた。同日、支援ルームの近くで開催したあそびまなびフェスには、村内外の子どもたちがたくさん集まって、有意義なフェスティバルになった。

21日の青少年育成村民大会では、湯浅先生の講演会で子どもの居場所作りについて新たなお話を聞いた。

27日は市町村教委連絡協議会の研修総会に出席した。

○教育次長報告

10月に入って中学校では生徒のインフルエンザの感染が多く確認された。学級閉鎖の措置にはいってない。本日、職員間で感染症の罹患者が増えている。現在3人の職員が休んでいるが、今のところ通常通りに校務は行われている。

スキー場の利用に関して、例年、索道事業者協議会と金額の打ち合わせをしている。令和3年度から無料とさせていただいているが、今シーズンの利用料については、11月6日に他事業と併せて索道各社と協議する予定になっている。学校から無料は学校が休みの日に限ってほしいと言われているので、それについてもあわせて協議する予定。

南小学校の保護者からフリースクールに通っている児童が、興味のある行事だけ学校に登校するのはいかなものかのご意見をいただいた。南小学校の校長と情報共有しているが、扱いとすると、フリースクールへ行くのも長期欠席するのも学校としての扱いが大きく違うものではないので、丁寧に説明して理解を得るしかないという

のが、校長先生との共有した認識である。

○子育て支援課長報告

保育園の敷地にある栗の木の下にクマのフンが見つかり、クマ対策として栗の木を伐採した。

令和6年4月の保育園の申し込み受付をしている。

サンライズキッズ保育園白馬園は12月1日からオープンだが、11月27日9時半から内覧会を行う。

現在、放課後子ども教室を南小では開催していないが、南小でアンケートを取ったところ、12人くらい参加希望があったので、令和6年度からは南小でも子ども教室を開催する予定で準備していきたい。

○生涯学習スポーツ課長報告

10月1日にサマーノルディックフェスティバル、クロスカントリーの競技会がスノーハープで行われ、約110名の選手が参加した。

10月24日に航空自衛隊岐阜基地の視察を4年ぶりに行った。スポーツ課職員、協力会役員で約20名が視察した。

10月8日、自衛隊ふれあいコンサート、東部方面音楽隊を開催した。約450名参加した。

10月14日、複合施設の予定地である支援センターで、去年に引き続きあそびまなびフェスティバルを開催した。木流しの親水公園を会場に行き、コロナでなかなか親子の触れ合いがなく、去年、大変好評で、今年は約600名の参加があった。来年以降も、このイベントについては開催していこうと考えている。

青少年育成村民大会は、約130名の出席があった。

28日、第39回白馬席書大会、北小の体育館で行った。参加者39名、文化祭で展示する。

29日、映画すずめの戸締りを上映し、約340人の方が鑑賞した。

○学校の報告

10月23日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、教育係長が報告した。

○保育園の報告

10月23日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、子育て支援課長が報告した。

4 議事

○報告第7号 通級指導教室への通級終了について

[子育て支援課長]

児童が松本市への転出により、通級指導教室終了となった。

○承認第22号 令和6年度 校長昇任の内申について

[教育次長]

期限が迫っていたため、教育長が面談をして内申した。

[教育長]

教頭生活を6年経験している者であり、内申した。

・全員賛成で承認された。

○議案第60号 全国中学校体育大会等参加生徒派遣費補助金交付要綱の一部改正に対する意見について

[教育次長]

この補助金交付要綱は、元々スキーの全国大会をベースに考えていた。バレー部や陸上部など、それ以外の部活でも県大会とか全国大会に出る生徒がいるので、実情に合わせて変えたい。

第1条には、全国大会と県大会とあったが、競技によっては北信越ブロック大会もあるので、それも補助した

く、第1条に北信越大会を入れた。それに合わせて補助基準の別表も直した。改正後の補助基準について、県大会以上は、県の体育連盟から補助があるので、その補助の算出に合わせて、残りの部分を村が補助できるようにした。交通費は県体連の算出方法と同様で、県で切られて足りない部分について補助をしたい。宿泊費も、県の要綱だと開会式と自分の出る競技の日しか出ないので、滞在分を補助したく直した。参加料、プログラム代に当たっても、県の算出方法と同じ。県大会は、交通費は実費、宿泊費も実費だが、1泊の上限を1万円。その他参加料についても同様。既に全国大会に出ている生徒がいるので、改正をして、適用については4月1日からにしたい。

[委員]

宿泊費は1泊1万円なのか？新旧対照表には総額1万円と記載してあるが？

[教育長]

例えば開会式から5泊した場合に、県の補助は、開会式と競技日、2日しか出ない。それが例えば、閉会式まで残る必要があれば、そのあふれた部分を出す。

[教育次長]

全国大会と県大会は違う。県大会は全体で1万円。全国大会は実費。ただ、その実費の補助基準は、県に合わせるの、例えば、県が1泊8,300円であれば村も8,300円払う。ただし、県は開会式と自分が出る競技の日だけ。5日滞在したら2日間しか補助しないので、残りの3日分は村が補助する。これは全国大会で、県大会の場合は全部で1万円。1週間居ても1万円。

・全員賛成で可決された。

○議案第61号 白馬村いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱に対する意見について

[教育次長]

条例等が改正されたことに伴い、委員の委嘱は村長になるので、今回は委嘱する人に対しての意見を求めるもの。

例年12月ぐらいに、全国の統計が出てきた折に会議を開くので、こんな遅い時期になった。11月から条例上2年なので、令和7年10月31日までで委嘱を考えている。各団体から推薦をいただいた方の名前を挙げている。長の任命の中に教育委員会が入っており、ずっとやっていただいているが、職務代理に入っていたきたい。

[教育長]

年度途中、校長先生など異動があったら、変更する。

・全員賛成で可決された。

○議案第62号 長野県・白馬村子育て世帯生活支援特別給付金支給事務実施要綱の制定に対する意見について

[子育て支援課長]

この給付金の目的は、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、速やかに生活暮らしの支援が受けられるよう、特に家計への影響が大きい子育て世帯のうち、市町村民税所得割非課税世帯等を支援するために実施する長野県・白馬村子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に関して、必要な事項を定めたもの。

市町村民税非課税世帯は国で行ったが、そこから溢れた市町村民税の所得割が非課税の世帯について、限定で長野県が独自に給付を行うもの。1世帯当たり3万円給付。要綱については長野県から見本が来て、それに準じて作った。該当者への連絡は、個別で行う。一般世帯分は健康福祉課で行っている。

[委員]

冠に長野県がつくのはなぜ？

[子育て支援課長]

長野県が独自でやるということ。お金については全額、長野県。事務的なことは、各市町村がやるので長野県がつく。村の支出は事務手数料ぐらいで、全額、県から直接交付。

・全員賛成で可決された。

○議案第 63 号 通級指導教室への通級許可について

[子育て支援課長]

北小の 1 年生 2 名、3 年生 1 名、中学 1 年生 1 名が通級教室の必要性があり、保護者も希望している。

[委員]

中学生はサテライトになるのか？サテライトは南小と中学？

[教育次長]

はい。

[子育て支援課長]

眼球運動が苦手とは、黒板を見て写したり、教科書を追って読んでいくなど目の使い方が苦手であること。

・全員賛成で可決された。

5 その他

・令和 5 年度全国学力・学習状況調査結果について

[教育係長]

令和 5 年 4 月 18 日に実施され、対象学年は小学校 6 年生と中学校 3 年生。教科に関する調査、小学校は国語・算数、中学校は国語・数学・英語。教科学習に対する興味関心などについても調査を行った。教科に関する調査結果は、小学校も中学校も、どの教科も全て全国平均、長野県平均より高い。

その考察で、北小の児童はあきらめが早いと先生はおっしゃっていたが、そうではないことがわかった。今後もあきらめず、時間いっぱいまで考えようとする子どもを育てていきたい。南小のほとんどの児童が将来の夢や目標を持っており、今学んでいることが自分の将来にも繋がることを感じて、日々勉強を頑張っている。やらされているのではなく、自主的にやろうとしていることがわかった。白馬という地域が世の中から注目され、明るいイメージや実感を持たせており、実際に白馬で活躍する方々と身近に話しができる環境にあることから、地域に貢献したり、地域の人と交流することを大切に考えている中学生が多くなっている。

全般的な傾向は、平均正答率が全ての教科について全国や県の平均に比べて高くなっているが、正答数に二つの山ができており、学力の二極化が表れ、できる子とできない子が両極端。本来一番人数が多くなるはずの平均値の子が少ない。この状況を打開し、学力が十分身につけていない児童生徒にも確かな学力を身につけさせることは、これからの白馬村の教育の大きな課題である。

[教育次長]

これは公表する。

[教育長]

これが学校全体、職員全体で共有される、あるいは保護者にまで伝わるのが授業改善とか、家庭指導に役立つと考える。

[委員]

これは毎年か？去年もあったか？

[教育次長]

去年もまとめたものを出した。

[委員]

アンケートはとても面白そうなのだが、その設問がわからないのが残念。回答、考察から推測するしかない。

・社会教育関係行事の開催報告

[教育長]

今週の金土日に白馬村文化祭がある。おすすめは 3 日の「お終活」という映画。僕らの世代に見てほしい映画。考えさせられるし、ぜひ見てほしい。

・白馬南小学校 150 周年記念式典について

[教育次長]

南小から届いた資料を付けた。

・教育長及び教育委員の異動報告書

[教育次長]

池田町から教育委員の再任について通知が来たので報告する。

・11月の日程について

[教育次長]

資料により説明。

次回定例会日程案

令和 5 年 11 月 28 日(火)午後 4 時から 白馬南小学校 150 周年記念式典終了後、白馬南小学校ランチルームにて。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	